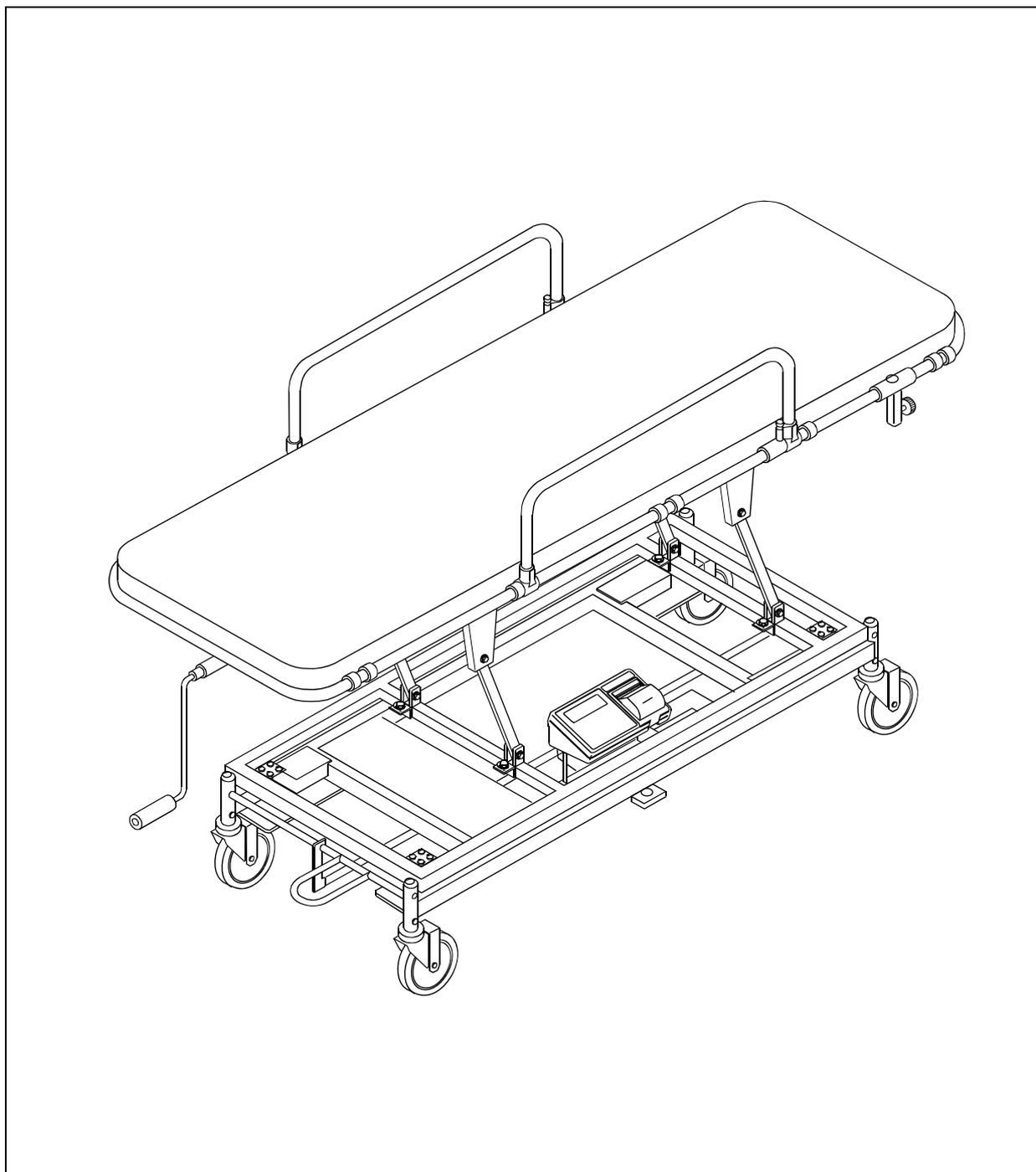


AD-6101C

ストレッチャースケール

取扱説明書



AND 株式会社 **エー・アンド・デイ**

WM+PD4000470C

ご注意

- (1) 本書の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
- (2) 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容は万全を期して作成しておりますが、ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
- (4) 当社では、本機の運用を理由とする損失、損失利益等の請求については、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

© 2006 株式会社 エー・アンド・デイ

株式会社エー・アンド・デイの許可なく複製・改変などを行なうことはできません。

目次

安全上の注意（必ずお守りください）	2
1. はじめに	2
1-1 概要	2
1-2 設置場所のお願い	2
1-3 使用上のお願い	3
1-4 使用の制限	3
2. 梱包内容と各部の名称・機能	4
2-1 本体部	4
2-2 表示器部	6
3. 使用前の準備	8
3-1 電源の準備	8
3-2 時計の設定	9
3-3 プリンタ用紙のセット・交換	10
3-4 オプションの取付方法（別売）	11
4. 使用方法	13
4-1 サイドレールの使い方	13
4-2 昇降用ハンドルの取り扱い	13
4-3 ブレーキペダルの取り扱い	14
4-4 計量	15
5. 風袋機能	16
5-1 風袋の設定方法	16
5-2 風袋引き機能の使用	16
5-3 風袋引き機能を使用しない方法	17
6. ファンクション	18
7. 通信機能（RS-232C インタフェース）	19
8. 手入れ、点検方法	21
9. 修理を依頼される前に！	21
10. 仕様・外形寸法図	22
外形寸法図	22
オプション（別売）	22
11. 重力加速度マップ	23

安全上の注意（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

1. はじめに

この度は、ストレッチャスケール・AD-6101Cをお求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、AD-6101Cの機能と正しい取り扱いの方法をご理解ください。お読みいただいた後も、この取扱説明書を大切に保管してください。

1-1 概要

AD-6101Cは、患者の搬送と計量ができるストレッチャ型の検定付体重計です。重症者や寝たきり患者をベッドサイドまで手軽に移動でき、寝た状態で安全に計量ができます。

特徴は

- ご使用中のベッドの高さに合わせ、担架部が上下して高さ調整が可能です。
- 安全性に配慮し、キャストはワンタッチ操作で機能するトータルロック付きです。
- 測定データは、内蔵プリンタで印字できます。
- 着衣などの風袋を2つまでメモリ設定できます。
- オプションで酸素ボンベ、ガートル棒が取付可能です。

1-2 設置場所のお願い

- 振動や風の影響を受けない平らな場所で、測定してください。
- 直射日光の当たる場所は避けてください。
- 外来電源ノイズ、強力な電波、磁気等の影響を受けない場所で測定してください。
- 引火、爆発するおそれのある物質の近くには設置しないでください。
- 設置場所の温度は、本機の使用温度範囲以内にしてください。

1-3 使用上のお願い

- ボールペン等尖った物でスイッチを押さないでください。故障の原因になります。
- 体重を測定するとき、静かに乗り、測定が終了するまで身体を動かさないでください。
- 本機は人間の体重を測定することを目的としています。それ以外の目的で使用しないでください。
- 検定付きの体重計としての性能を維持するため取り扱いに留意してください。正しく計量するためには「使用の制限」をご確認の上ご使用ください。点検等は、お買い求めの販売店にご相談ください。

1-4 使用の制限

- 最小表示は100gとなっています。取引または証明における計量に使用する場合は最小表示100gの状態でご使用ください。
- 補助表示で最小表示を20gで測定することも可能ですが、取引または証明における計量には使用できません。20g表示部分には斜線シールが貼られています。
- 検定付きのはかりの校正はユーザでは行えません。定期点検等はお買い求めの販売店にご相談ください。

- 使用地域の制限

本機は検定付きの計量器です。

「取引」や「証明」に使用される場合、使用できる地域が決められています。表示部背面の銘板に記載されている使用地域内でご使用ください。使用可能な使用地域は、銘板に記載されている地区番号と取扱説明書の重力加速度マップでご確認ください。

- 使用範囲

取引または証明に使用する「使用範囲」は銘板に記載されています。

「取引」とは、計量法の「有償であること無償であることを問わず、物または役務の給付を目的とする業務上の行為」をいいます。

「証明」とは、計量法の「公に又は業務上他人に一定の事実が真実である旨を表明すること」をいいます。

- 定期検査（検定）

ひょう量5t未満の質量計を取引や証明に使用する場合、計量法施行令第11条により2年に1回定期検査（検定）を受けることが義務づけられています。

当定期検査は、都道府県の指定した施設にて行いますので、詳細は各都道府県にお問い合わせください。

「はかり」は、長期間使用していると精度のくずれを生ずることがあります。

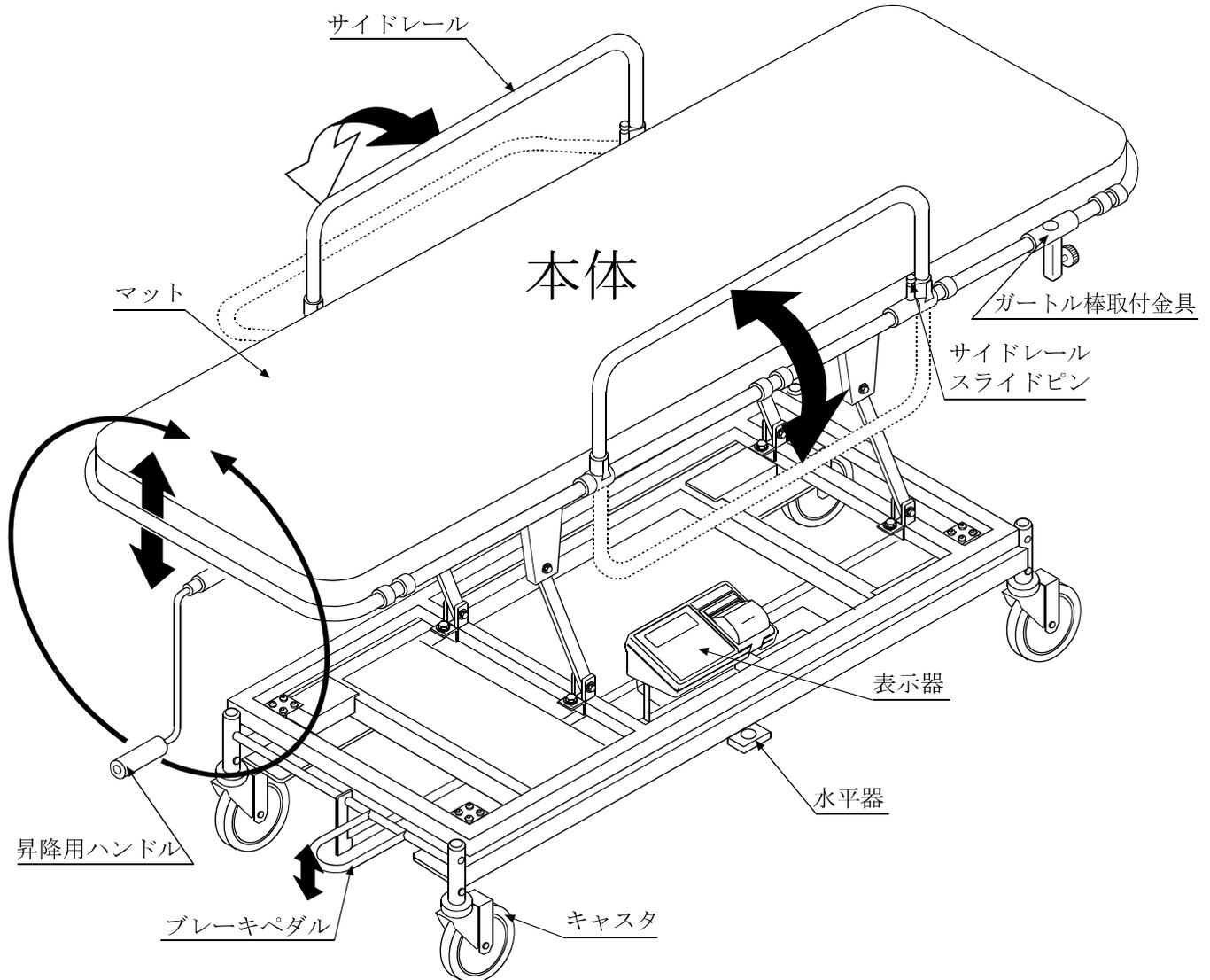
性能維持のため定期点検をお奨めします。定期点検については、弊社にお問い合わせください。

- 使用温度範囲

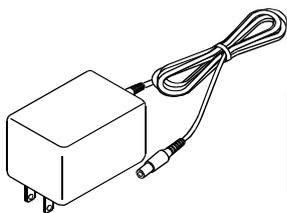
本機は使用温度範囲内でご使用ください。

2. 梱包内容と各部の名称・機能

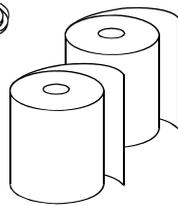
2-1 本体部



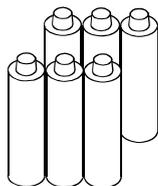
付属品



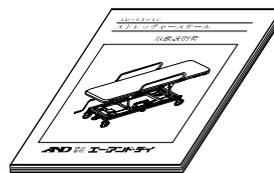
ACアダプタ
(TB105)



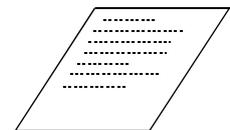
プリンタ用紙
(PP-147)



単三形乾電池
6本



取扱説明書



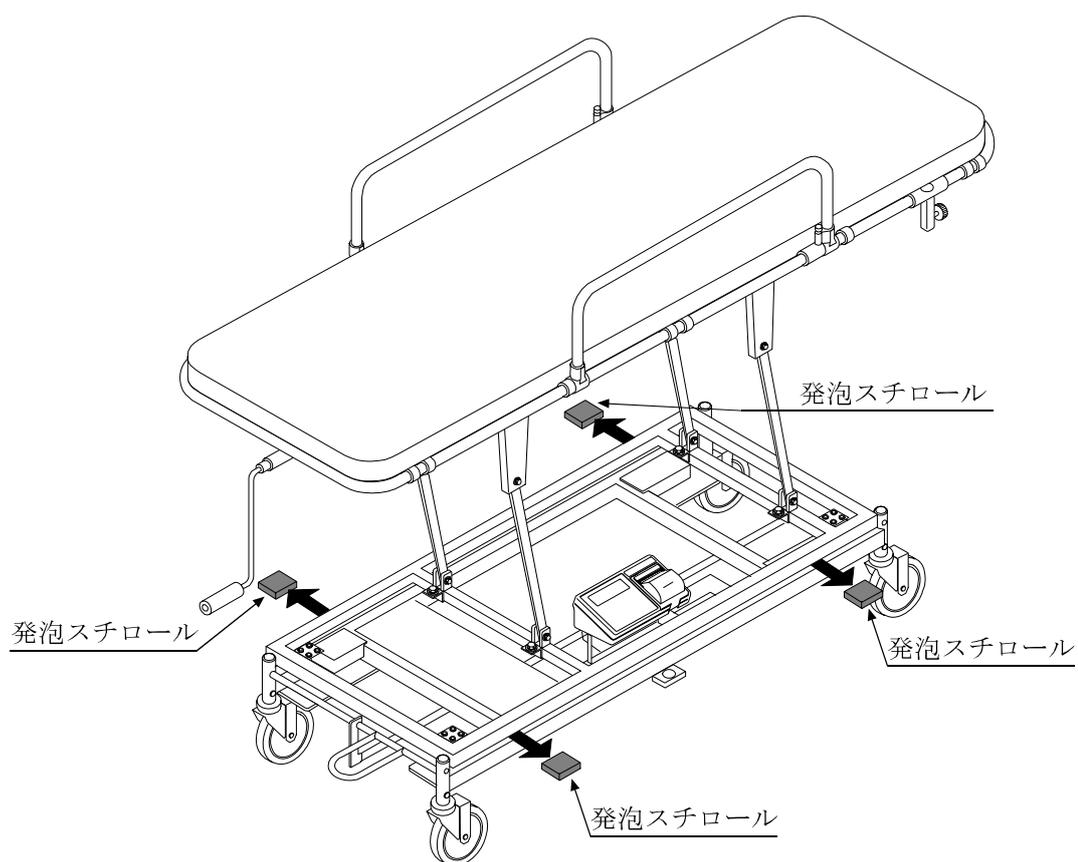
保証書

ご使用前に

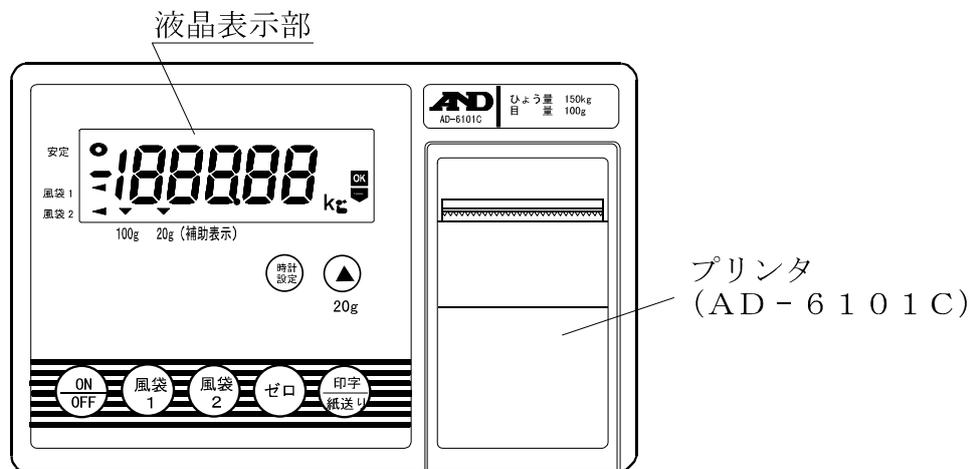
本機には、出荷時に荷重センサ保護のため、4個の発泡スチロールが挟んであります。

取り付けたままでは測定できませんので、4個の発泡スチロールを取り外し、ご使用ください。

また、本機を輸送するときは、この4個の発泡スチロールを挟んでください。



2-2 表示器部



キー機能

キー	名称	機能
	電源 ON / OFF キー	電源を ON または OFF するキーです。 ※本機には、オートパワーオフ機能がついています。この機能は、電源が ON の状態で、約 5 分間以上ゼロ表示（測定が行われない状態）が続いた場合に、自動的に電源を切る機能です。このオートパワーオフ機能の設定は、“6. ファンクション” を参照してください。
	風袋 1、風袋 2 キー	メモリ風袋引き機能のキーです。設定された風袋値を自動的にマイナスした体重値を表示します。 2 秒間以上押し続けると、設定モードに入ります。“5. 風袋機能” を参照してください。
	ゼロ キー	表示をゼロ、またはメモリ風袋引き値にするキーです。
	時計設定 キー	カレンダーと時刻を設定するキーです。（電源 OFF 時に有効となります。）“3-2 時計の設定” を参照してください。
	▲ キー	各種設定モード時に数値をアップさせるキーです。 測定時に最小表示を 20 g に切り替えるキーです。
	印字 / 紙送り キー	測定時に押すと、日付と時刻と測定値が印字されます。 電源 OFF 時に押すと、プリンタ用紙を紙送りします。

液晶表示部の説明



表示	名称	内容
	安定マーク	安定マーク。測定値が安定すると表示されます。
	マイナス符号	マイナス符号。表示をゼロにした重さより軽いとき表示されます。メモリ風袋引き値にも表示されます。
風袋 1	風袋 1 マーク	メモリ風袋引き 1 を選択したときに点灯します。
風袋 2	風袋 2 マーク	メモリ風袋引き 2 を選択したときに点灯します。
	表示固定マーク	表示固定マーク。測定値が固定されると表示されます。
100g	100g 表示マーク	最小表示単位が 100 g のとき点灯します。
20g	20g 表示マーク	最小表示単位が 20 g のとき点灯します。
	OK マーク	印字ができるときに点灯します。
	電池消耗マーク	電池消耗時に点灯します。(このマークが点灯すると体重測定はできますが、印字はできません)
	電池不足マーク	電池不足です。乾電池 6 本を新しいものに交換してください。

3. 使用前の準備

本機をご使用する前に、あらかじめ次の準備を行ってください。

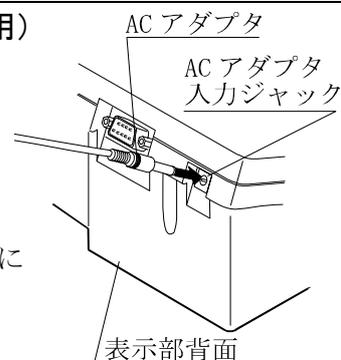
3-1 電源の準備

●コンセントの電源を使用する場合（専用ACアダプタの使用）

⚠ 注意

ACアダプタのケーブルは、本体に当たらないように注意してください。測定値の誤差になります。

専用ACアダプタを右図を参考に表示部背面のACアダプタ入力ジャックに差し込み、100V電源コンセントに差し込んでください。

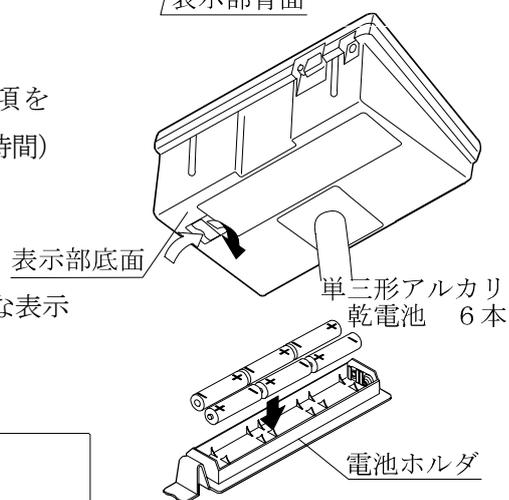


●乾電池を使用する場合

右図を参考に表示部底面の電池ホルダを外し下記の注意事項をご確認の上、乾電池（単三形アルカリ乾電池6本：連続測定約10時間）を装着してください。

・乾電池の交換時期について

乾電池使用時に、乾電池の交換時期にさしかかると下図のような表示（電池消耗・電池不足）が2段階で液晶表示部に表示されます。



電池消耗



電池不足

体重測定はできますが印字はできません。 体重測定、印字もできません。

乾電池がさらに消耗すると、“E”表示や“- - - -”表示、または電源をONしても何も表示しなくなる場合があります。

このような場合、直ちに使用を中断して下記の注意事項をご確認の上、乾電池をすべて新しいものに交換してください。

⚠ 注意

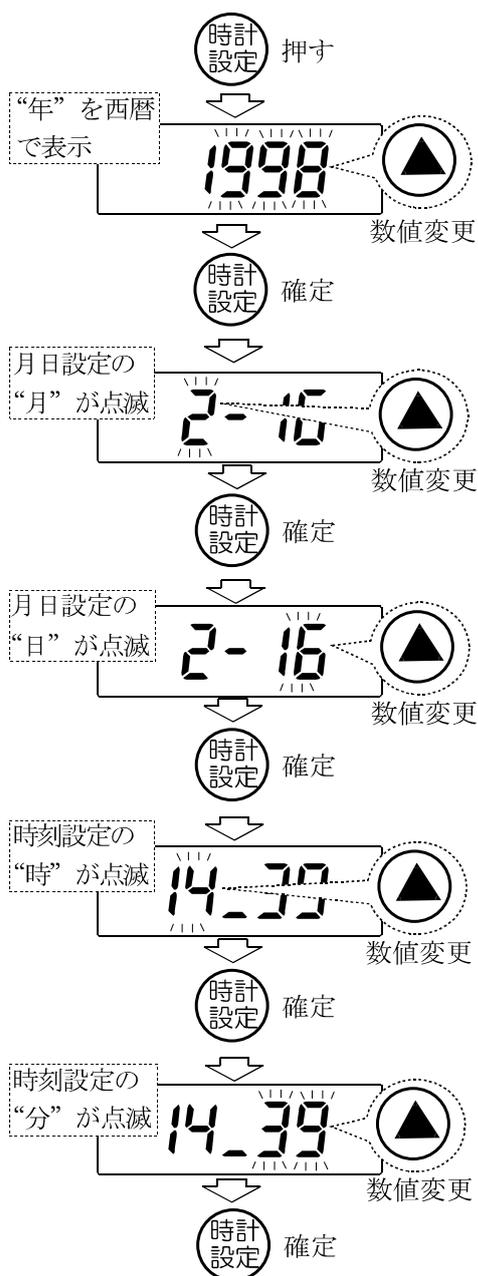
- ・ 付属の乾電池はモニター用です。電池寿命が短い場合があります。
- ・ 乾電池はホルダの表示に従って+、-を正しくセットしてください。
- ・ 乾電池を交換する場合は、6本まとめて行ってください。
- ・ 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。必ずアルカリ乾電池をご使用ください。
- ・ 長時間使用しない場合、あるいは専用ACアダプタのみで使用する場合は、乾電池を取り外してください。乾電池を入れたまま長時間放置しますと、液漏れの恐れがあります。乾電池の液漏れによる修理は保証期間内でも有償修理になります。

3-2 時計の設定

本機は、時計の機能が付属しています。初めて本機をお使いになるときは下記の方法で日付・時刻を設定してください。

※印字を行うと、測定結果とともに日付・時刻を印字します。

- ① 電源OFF時に時計設定キーを押してください。
- ② “年”（西暦）の表示が点滅します。これで「時計設定モード」に入りました。
- ③ ▲キーを押すと“年”が1ずつ増えます。“年”の表示は、西暦で閏年機能がついています。（設定範囲は、1998年～2097年までの100年間です。）
- ④ “年”の設定時に時計設定キーを押すと、“年”を確定し月・日設定表示に変わり“月”が点滅します。
- ⑤ ▲キーを押して“月”を合わせてください。
- ⑥ “月”の設定時に時計設定キーを押すと、“月”を確定し“日”が点滅します。
- ⑦ ▲キーを押して“日”を合わせてください。
- ⑧ “日”の設定時に時計設定キーを押すと、“日”を確定し時刻設定表示に変わり“時”が点滅します。
- ⑨ ▲キーを押して“時”を合わせてください。時刻は、24時間制です。
- ⑩ “時”の設定時に時計設定キーを押すと、“時”を確定し“分”が点滅します。
- ⑪ ▲キーを押して“分”を合わせてください。
- ⑫ “分”の設定時に時計設定キーを押すと、“分”を確定し表示が消えます。このとき、時計は0秒よりスタートします。
- ⑬ これで時計の設定は終了です。



※本機の時計はリチウムバッテリーでバックアップされているので、電源を切ったり、電池を外したときでも動作します。
 ※ファンクションの設定で電源OFF時に時刻を表示できます。

3-3 プリンタ用紙のセット・交換

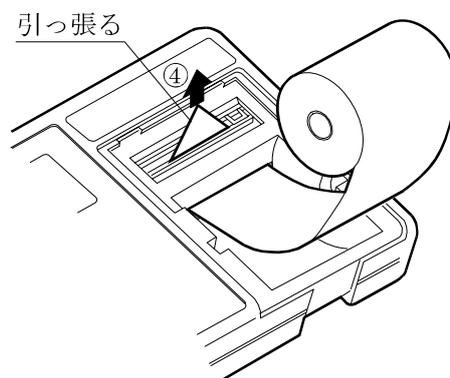
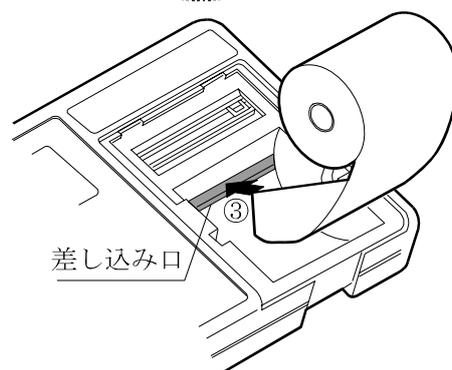
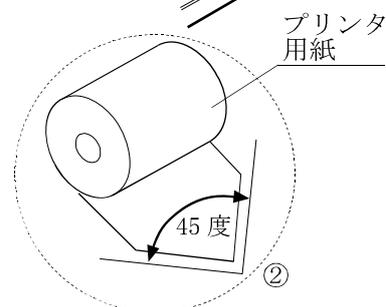
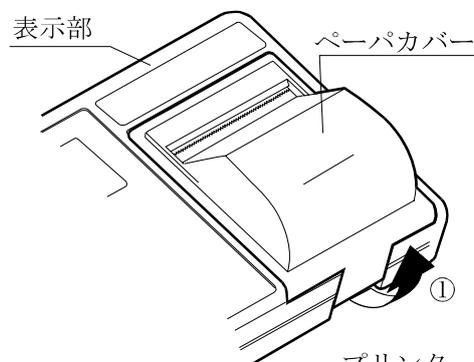
お知らせ

- ・ 本プリンタは、感熱紙タイプです。専用のプリンタ用紙（PP-147）をご使用ください。
- ・ ファンクション（F7）の設定により、印字モードを変えることができます。

プリンタ用紙のセット方法

プリンタ用紙をセットする前に、電源の準備ができているか（“3-1 電源の準備”参照）確認してください。電源の準備ができましたら、**ON/OFF**スイッチで電源OFFの状態にします。

- ① 表示部のペーパーカバーを外します。
- ② プリンタ用紙の先端を右図のように切ります。
- ③ 先端を所定の位置に差し込みます。
- ④ 先端がプリンタから出てきたら、ゆっくり、引っ張ってください。
- ⑤ プリンタ用紙の先端部分が、全部見えたら**印字/紙送り**キーを押して、正常に紙送りすることを確認してください。
もし、正常に紙送りしない場合は、もう一度やり直してください。
- ⑥ 正常に紙送りすることが確認できたら、ペーパーカバーにプリンタ用紙を差し込み、固定して終了です。



3-4 オプションの取付方法（別売）

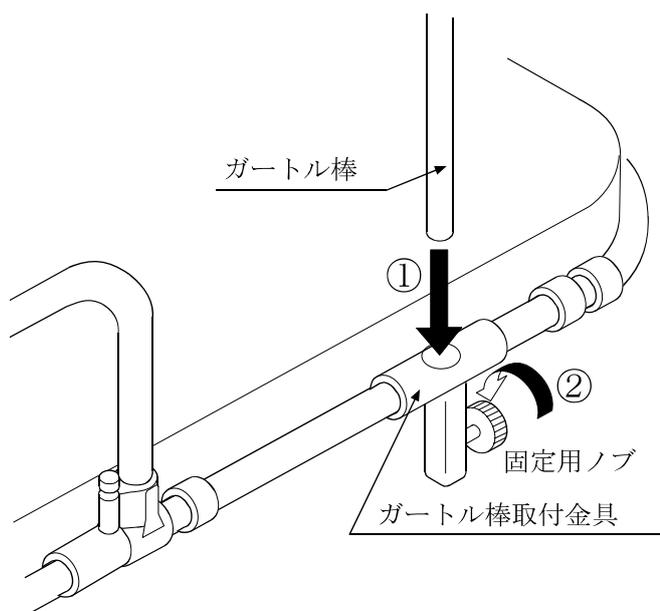
1. ガートル棒の取付方法

⚠ 注意

- ・ ガートル棒を取り付ける際には、固定用ノブをしっかりと締めてください。きちんと固定されていないとガートル棒が抜けてしまい危険です。
- ・ ガートル棒を使用する場合は、固定用ノブがしっかりと締まっていることを確認してください。きちんと固定されていないとガートル棒が抜け、医療事故、けが等の恐れがあります。

① ガートル棒をガートル棒取付金具に差し込みます。

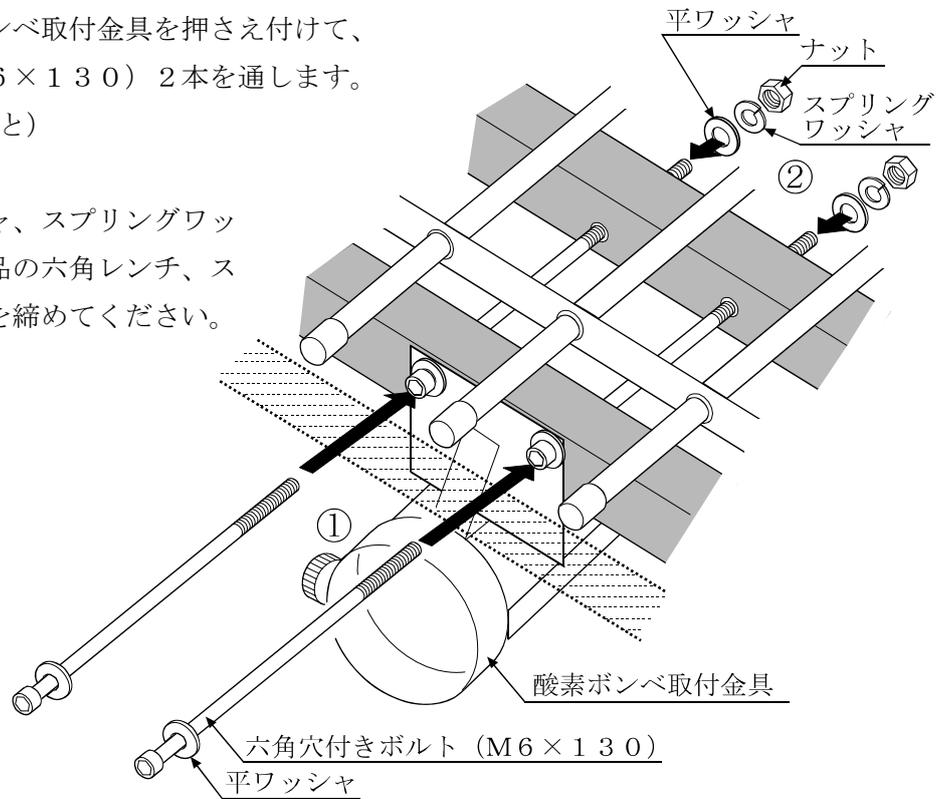
② 固定用ノブを締めて固定します。



2. 酸素ポンベ取付金具の取付方法

① 右図の位置に、酸素ポンベ取付金具を押しえ付けて、六角穴付きボルト（M6×130）2本を通します。（平ワッシャを付けること）

② 反対側より、平ワッシャ、スプリングワッシャの順に通し、付属品の六角レンチ、スパナを使用してナットを締めてください。



4. 使用方法

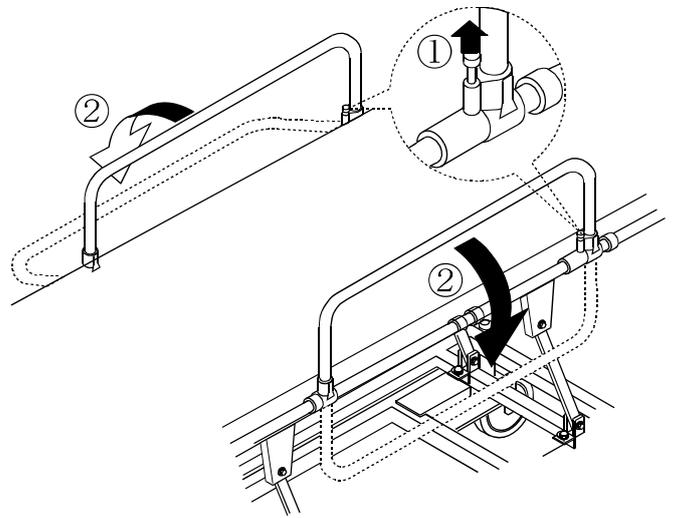
4-1 サイドレールの使い方

⚠ 注意

安全のため、搬送中または測定中には、必ずサイドレールを立ててロックした状態で使用してください。

サイドレールのジョイント部分にスライド式のピンがあります。これを上に引くとサイドレールが外側に回転して倒すことができます。

使用時にはサイドレールを起こし、スライドピンが「カチッ」と音がすると自動的にロックされます。



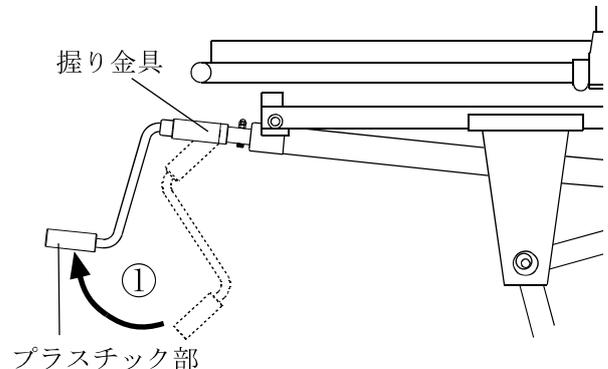
4-2 昇降用ハンドルの取り扱い

●ハンドル使用時

⚠ 注意

プラスチック部を持って手前に引くとき、握り金具で手・指を挟まないように十分に注意してください。

プラスチック部を持って手前に引くとハンドルが使用するときの位置に戻ります。(図①参照)
ハンドルを時計回りに回転させると担架部が上昇し、反時計回りに回転させると下降します。
最上部または最下部に達したときはハンドルが重くなります。それ以上回すと故障の原因になりますので無理に回さないでください。

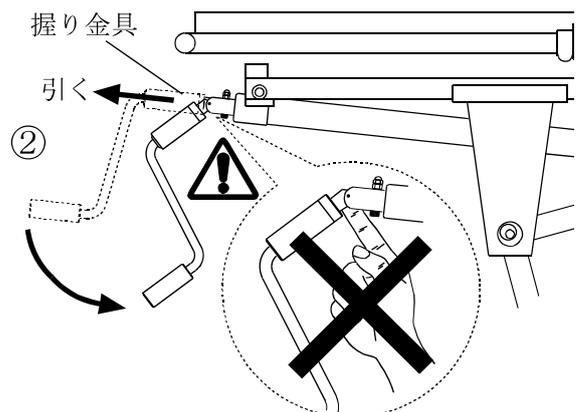


●ハンドルの折りたたみ方

⚠ 注意

ハンドルを折りたたむときに手・指を挟まないように十分に注意してください。

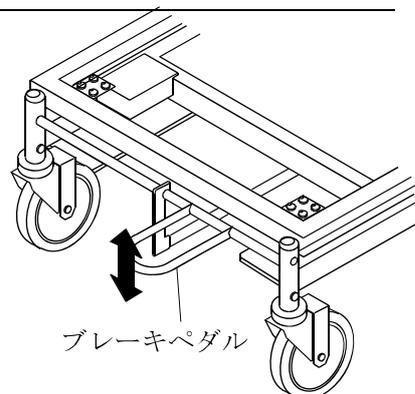
ハンドル部中央の握り金具を手前に引きながら折
でプラスチック部を持って両手で操作してください。(指を挟まないよう握り金具は手前の方を握って操作してください。)担架部の昇降時以外のときはハンドル部は必ず折りたたんだ状態にしてください。



4-3 ブレーキペダルの取り扱い

⚠ 注意

停車中は、必ずブレーキペダルを使ってキャスタ（車輪）をロック（固定）してください。



AD-6101Cにはキャスタ間にブレーキペダルがついています。このペダル操作によってフリー、固定、直進を使い分けてください。（ペダル中央部にペダル位置を示すシールが貼ってあります。）

- フリー 四輪自在になります。通常走行時に使用してください。
- 固定 四輪固定になります。体重測定時、患者の載せ替え時に使用してください。または上下式ストレッチャでハンドル操作によって担架を上下させるときに使用してください。
- 直進 ハンドル側から見て前方左側のキャスタが直進方向で固定されます。長い直進走行のときに使用してください。

⚠ 注意

搬送中は、本機を壁等にぶつけないように注意してください。

4-4 計量

⚠ 注意

電源を入れるときは、担架部にはマット以外の物を載せないでください。担架部の上に物を載せて電源を入れると“-----”表示になります。セルフチェック機能のエラーとなります。

① 測定を開始する前に下記のことを確認してください。

・電源の確認

付属の専用ACアダプタか、単三形アルカリ乾電池6本が取り付けられているか確認してください。（“3-1 電源の準備”参照）

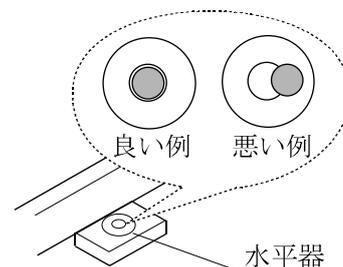
・水平の確認

測定時、本体の水平器の気泡（アワ）が赤い円の中心に位置するような水平な場所で行ってください。

・ブレーキペダルの確認

⚠ 注意

測定時の安全のため、必ずブレーキペダルを使ってキャスト（車輪）をロック（固定）してください。



② **ON/OFF** キーを押して電源を入れます。表示チェックが始まります。

※担架部の上に物を載せて電源を入れると“-----”表示になります。セルフチェック機能のエラーとなります。

③ 表示値がゼロになるよう**ゼロ**キーを押してください。

※**ゼロ**キーは風袋キーとしても機能します。

④ 表示がゼロになりましたら、担架部に静かに乗ります。固定表示マークが表示され、体重が読みとれます。

⑤ **OK** マークが点灯しているときに**印字/紙送り** キーを押すと、表示値を日付・時刻とともに印字します。（電源OFF時は紙送りのみ）

⑥ 電源を切るときは、**ON/OFF** キーを押してください。

⑦ 表示が消えます。

注意 取引または証明における計量に使用する場合は最小表示100gの状態でご使用ください。

最小表示を20gで測定することも可能ですが、20gの桁は補助表示と言い、取引または証明における計量には使用できません。

5. 風袋機能

風袋機能を使うことにより、事前に着衣等の重量を登録しておいて、体重のみを測定することができます。本機では2種類の風袋（風袋1、風袋2）の登録を行うことができます。

注意

測定できる総重量は風袋を含め150kgです。

5-1 風袋の設定方法

●風袋1の場合

- ① 電源OFF時、**風袋1**のキーを約2秒以上押し続けます。
- ② 表示の風袋1の右側の矢印が点滅したら設定モードに入りました。
- ③ **ゼロ**キーを押して表示を“0.0kg”にします。
- ④ 担架部の上に風袋引きしたい物を載せ、安定マーク“○”の点灯を待ちます。風袋の数値変更をしたい場合には、**▲**キーを押すと100gずつ増やすことができます。入力を間違えた場合には、③からやり直してください。
- ⑤ 設定が終了したら、**風袋1**のキーを押して登録します。

※風袋1以外のキーを押しても登録されません。

●風袋2の場合

- ① 電源OFF時、**風袋2**のキーを約2秒以上押し続けます。
- ② 表示の風袋2の右側の矢印が点滅したら設定モードに入りました。
- ③ “風袋1の場合”の③、④と同じです。
- ④ 設定が終了したら、**風袋2**のキーを押して登録します。

※風袋2以外のキーを押しても登録されません。

5-2 風袋引き機能の使用方法

- ① **風袋1**または**風袋2**のキーを押します。
- ② 登録された風袋引き値がマイナスで表示されます。
- ③ 担架部の上に乗ります。
- ④ 登録された風袋引き値だけマイナスされた体重値が表示されます。
- ⑤ 測定が終了したら担架部から静かに降ります。
- ⑥ 必要に応じて、手順③～⑤を繰り返します。また**OK**マークが点灯しているときに**印字/紙送り**キーを押すと、表示値を日付・時刻とともに印字します。
- ⑦ 電源を切るときは、使用した**風袋1**または**風袋2**のキーを押してください。
- ⑧ 表示が消え、他のキーを押すと測定モードだけが変わります。

5-3 風袋引き機能を使用しない方法

風袋キーを使用せずにゼロキーを利用して着衣等の重量をマイナスし、体重のみ表示させることができます。

注 意

測定できる総重量は風袋を含め150kgです。

- ① ON/OFFキーを押して電源を入れます。表示チェックが始まります。
- ② 表示値がゼロになるようゼロキーを押してください。
- ③ 着衣等を担架部の上に載せます。
- ④ 安定マーク“○”の点灯を待って、ゼロキーを押してください。
- ⑤ ゼロ表示になります。
- ⑥ 着衣等を担架部から降ろすと、マイナスで着衣等の重量が表示されます。
- ⑦ 着衣等と一緒に、担架部の上に乗ってください。
- ⑧ 安定マーク“○”が点灯し、着衣等の重量をマイナスした体重の値が表示されます。
- ⑨ 測定が終了したら担架部から静かに降ります。
- ⑩ 必要に応じて、手順③～⑨を繰り返します。またOKマークが点灯しているときに印字/紙送りキーを押すと、表示値を日付・時刻とともに印字します。
- ⑪ 電源を切るときは、ON/OFFキーを押してください。
- ⑫ 表示が消えます。

6. ファンクション

基本動作の他に、以下の機能が設定できます。

ファンクション説明

F 1	オートパワーオフ	何も操作しないで、“0. 0 k g”表示が約5分間続くと自動的に電源を切って、電池の消耗を防ぎます。
F 2	表示固定機能	測定値（体重）が一度安定すると、ある一定期間表示し続ける機能です。
F 3	ブザー機能	クリック音、測定終了音を設定します。
F 4	通信機能	通信機能を設定します。
F 5	通信速度	通信速度を変更します。
F 6	時計表示	電源OFF時に時刻を表示します。
F 7	印字動作	印字機能を設定します。
F C	改行数	自動紙送り長さの設定をします。

設定

ファンクション	機能選択	内 容
F 1	0	オートパワーオフ機能を使用しない。
	* 1	オートパワーオフ機能を使用する。
F 2	0	表示が安定しても表示固定しません。
	* 1	表示が安定すると表示固定します。 ±3 k g以上の変動またはゼロ表示にすると解除します。
	2	表示が安定すると表示固定します。 ±3 k g以上の変動があっても7秒間は表示固定し続けます。
F 3	0	ブザーが鳴りません。
	* 1	ブザーを鳴らします。（クリック音、測定終了音）
F 4	* 0	ストリームモード
	1	コマンドモード
	2	オート出力モード
F 5	* 0	2 4 0 0 b p s
	1	4 8 0 0 b p s
	2	9 6 0 0 b p s
F 6	* 0	電源OFF時に時刻表示を消します。
	1	電源OFF時に時刻を表示します。
F 7	* 0	印字キーを押すと印字します。
	1	測定値が安定したら印字します。（オートプリント）
	2	印字キーを押しても印字しません。
F C	0 ~ 2 0	印字の自動紙送り長さの設定ができます。
	* 6	出荷時の設定は6です。数字を大きくすると長くなります。

*は、出荷時の設定

キー操作

- ① 電源OFF時、**ゼロ**キーを押したまま、**ON/OFF**キーを押して電源を入れてください。
- ② **ゼロ**キーを押すとファンクションの変更ができます。
(F 1→F 2→F 3→F 4→F 5→F 6→F 7→F C→E n d)
- ③ **▲**キーを押すと機能の選択ができます。
- ④ ファンクションを終了するときは、**ゼロ**キーを押して表示を“E n d”にしてから、**ON/OFF**キーを押してください。

7. 通信機能（RS-232C インタフェース）

注意

通信ケーブルは、本体に当たらないように注意してください。
測定値の誤差になります。

(1) インタフェース概要

ファンクション設定により、ストリームモード、コマンドモードとオート出力モードが選択できます。設定はファンクションの項を参考にしてください。

① ストリームモード

体重計が表示している値と同じ値を常時出力します。出力されるデータは、約2回/秒です。

② コマンドモード

体重計とパーソナルコンピュータ等を接続し、コンピュータから体重計にコマンドを送って、表示データを出力させたり、表示をゼロにすることができます。

用意されているコマンドは、次の3つです。

* `CR`、`LF` は、ターミネータです。

`ZCR LF` または `TICR LF` : 表示が安定しているとき表示をゼロにします。

`QCRLF` : 表示の安定、非安定にかかわらず、表示データを1回出力します。

③ オート出力モード

表示が固定されるとデータが1回だけ出力されます。

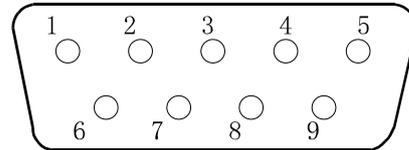
(2) インタフェース仕様

出力規格	E I A R S - 2 3 2 C に 準 ず る。
伝送形式	調歩同期式（半二重方式）
信号速度	2400bps、4800bps、9600bps 選択可
データビット長	7ビット
パリティ	1ビット（EVEN）
ストップビット	2ビット
使用コード	A S C I I

(3) インタフェース回路

コネクタ：D-sub 9ピン

ピン番号	信号	方向*
1	CD	入力
2	RD	入力
3	TD	出力
4	DTR	出力
5	SG	
6	DSR	入力
7	RTS	出力
8	CTS	入力
9	RI	入力

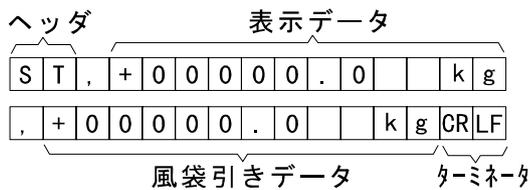


*表示器から

(4) データフォーマット

- ・出力データは、表示データ+風袋引きデータとして出力されます。
- ・ヘッダは、次の3種類があります。
 - ST：データが安定している。
 - US：データが安定していない。
 - OL：データがオーバしている。
- ・データは、符号、小数点を含み9桁です。
- ・データがオーバしているときは、“±99999.9”を出力します。
- ・ターミネータは、ファンクションの設定にかかわらずCR+LFが出力されます。
- ・ストリームモード、コマンドモード、オート出力モードいずれも同じ。

●100g表示の場合



8. 手入れ、点検方法

- 汚れのひどいときは、中性洗剤の薄め液をスポンジに含ませ、固く絞ってから、汚れを取ってください。その後、乾いた布で拭き取ってください。
- 塩素系洗剤、シンナー、クレゾールなどは絶対に使用しないでください。
- たわしや磨き砂、研磨剤入りのスポンジなどは本体を傷つけますので使用しないでください。
- ボルト、ナット類の緩みがないか定期的に点検していただくようお願いします。緩んだままでのご使用は危険ですので、締め直すか販売店にご相談ください。

9. 修理を依頼される前に！

修理を依頼される前に下記の事項をご確認してください。

現象	確認
電源をONしても、何も表示しない	<ul style="list-style-type: none"> ・ACアダプタは正しく接続されていますか？ ・乾電池は正しく入っていますか？ ・乾電池が消耗していませんか？
“-----”を表示したまま変わらない	<ul style="list-style-type: none"> ・本体の上に何か載っていませんか？ ・セルフチェック機能エラー 電源投入時、ひょう量の10%以上の物が載せてあると表示されます。 ・ゼロ点がズレていませんか？ (ゼロスイッチを押してみてください。) ・乾電池が消耗していませんか？
負荷した重さと表示値がズレている	<ul style="list-style-type: none"> ・水平に設置されていますか？ ・本体に何か当たっていませんか？ ・ACアダプタケーブルが本体に触れていませんか？
キーがきかない 表示が変化しない	<ul style="list-style-type: none"> ・ACアダプタまたは乾電池を抜いて、一度電源を完全に切って再度入れ直してください。
ゼロ キーが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源を入れたとき本体に何か載っていませんか？ 本体の上の物を降ろし、電源を入れ直してください。
印字しない	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ用紙が正しくセットされていますか？ ・弊社指定のプリンタ用紙を使用していますか？ ・乾電池が消耗していませんか？

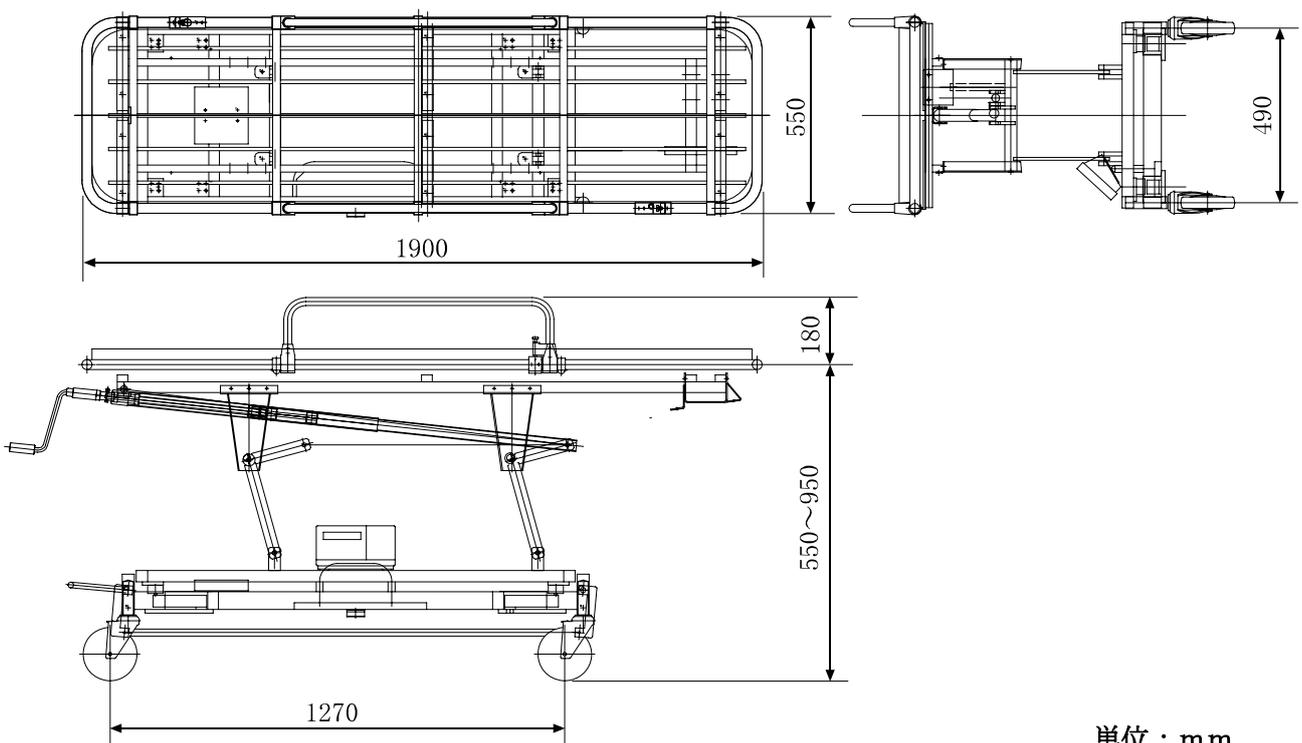
エラー表示

表示	内容
E	<ul style="list-style-type: none"> ・計量台から表示器へのケーブルが断線している可能性があります。 ・ひょう量が範囲外の可能性があります。 ・乾電池電圧の低下の可能性があります。
E 0 2	<ul style="list-style-type: none"> ・メモリ不良です。
E 2 1	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ不良です。

10. 仕様・外形寸法図

ひょう量	150kg
最小表示(目量)	100g(補助目盛として20g)
表示方法	7セグメント液晶表示 文字高 22mm
使用温度範囲	-5℃~35℃
電源	専用ACアダプタ または、単三形アルカリ乾電池6本(電池寿命:連続使用で約10時間)
外形寸法	約1900×550mm
キャスタ	トータルロック付き
プリンタ	表示器に内蔵
重量	約72kg
付属品	取扱説明書 マット(3kg) 専用ACアダプタ(TB-105) プリンタ用紙(紙幅58mm:PP-147) 単三形アルカリ乾電池 6本

外形寸法図



単位：mm

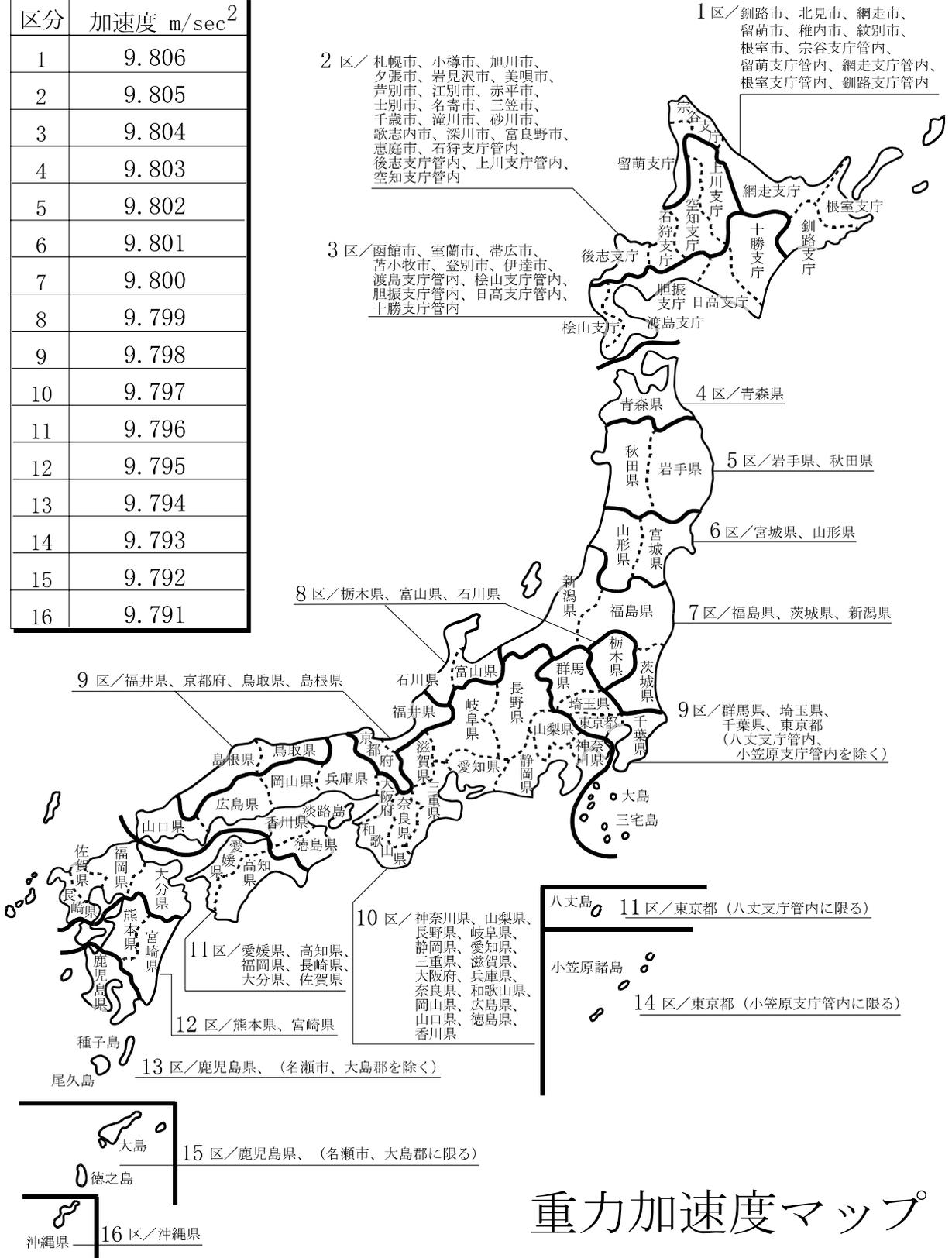
オプション(別売)

ガートル棒

酸素ボンベ取付金具(20用)

11. 重力加速度マップ

区分	加速度 m/sec ²
1	9.806
2	9.805
3	9.804
4	9.803
5	9.802
6	9.801
7	9.800
8	9.799
9	9.798
10	9.797
11	9.796
12	9.795
13	9.794
14	9.793
15	9.792
16	9.791



重力加速度マップ

